

症ワクチン接種を集団接種により、約500人を対象に行いました。この集団接種により当町のワクチン2回目接種率は、町民の88%となりました。

10月27日、広野町老人福祉センターにおいて、県営復興公営住宅や広野町内に居住する大熊町・富岡町民と広野町民が交流を通じ地域とのつながりを持つことを目的として、第1回合同サロン「たまり場・さんぼ道」を26名参加のもと開催しました。参加者自己紹介や認知症予防脳トレーニングゲームを行いながら交流し、楽しい時間を過ごしました。



第1回合同サロン「たまり場・さんぼ道」の様子

10月31日、「ひろの健康まつり」開催に際し、「福祉のまちづくりへのチャレンジ」健康編」を策定し、広く町民に呼びかけるとともに、「脱お達者度

ワースト1・脱メタボ」宣言を行いました。食育の推進、健康に関する講演会や健康増進事業の実施など、町民の皆さまと共に健康に資する事業に取り組みます。

### こども家庭課

9月22日、広野こども園において、園児と小学校1年生が全国大会で活躍した「ふたば未来学園バドミントン部」へ手作りの金メダルを手渡しました。部員から金メダルのお礼にバドミントンのシャトルを再利用して制作したマスコットを頂き、子どもたちと交流を深めました。

9月28日、広野こども園の運動会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、5歳児の保護者のみの応援としました。園児たちはリレーや障害物競争などの競技のほか、鼓笛やダンスなどの演技を元氣一杯披露しました。

10月1日、昨年に引き続き、多くの子どもたちにインフルエンザ予防接種を受けていただくため、接種費用全額補助の申請受付を開始しました。11月末現在の申請件数は、116件となっています。

11月9日、広野こども園において防火教室を開催し、3歳児から5歳児までの園児が参加しました。園児は、富岡消防署の職員から火遊びの危険性や火災の恐ろしさについて学び、「火遊びは絶対にしません」と誓いの言葉を述べました。

11月19日、学校法人昌平賢いわき短期大学附属幼稚園と広野こども園との連携協力協定に基づき、いわき短期大学の講師とゼミ生による3歳児から5歳児を対象とした運動能力測定を実施しました。個別の結果を保護者に通知するとともに、測定結果を基に園児たちの運動能力の現状を把握し、改善に向けた運動について検討していきます。



いわき短期大学との連携によるこども園児

12月4日、広野こども園の発表会を開催しました。三密を避けるため、園児の年齢ごとに保

護者入れ替え制での観覧としましたが、ご家族の皆様には多数ご来園いただき、園児たちは練習してきたダンスや劇を一生懸命に演じました。

### 環境防災課

9月21日から9月30日にかけて役場前交差点において、秋の交通安全運動の取り組みとして、国道6号を通行するドライバーと通学時の児童生徒に対して、特別職及び管理職による立哨活動を行い、初日と最終日には職員総出で横断幕やプラカードを掲げ交通事故防止啓発活動を実施しました。

9月26日、広野町総合グラウンドにおいて、令和3年広野町消防団・婦人消防隊秋検閲式を議長、副議長ご臨席のもと挙行いたしました。当日は、団員・隊員はマスク着用、検温を実施し、十分な感染予防対策を講じ、消防団の厳格な規律や団結力を高め、町民の生命、財産を守ることを念頭に広野町消防団、広野町婦人消防隊、株式会社JERRA広野火力発電所自衛消防隊、総勢55名の参加のもと挙行しました。

10月24日、築地ヶ丘公園、折

活用した火災現場の情報収集訓練も実施しました。火災のシーンを迎え町民の安寧な生活の営みに向け、消防団員が厳正な規律・志気及び迅速な行動・動作で基本に忠実な操作により、機械器具への精通を深めました。



広野町津波避難訓練並びに新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難訓練の様子

12月1日、午前7時48分に大雨警報が発表されたことに伴い、災害に備え警戒配備体制を敷き、気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みました。同日、午後14時45分、大雨警報解除が発表され警戒配備体制を解きました。この大雨による被害はありませんでした。

### 産業振興課

営農再開9年となりました令和3年産米の収穫量については、「平年並み」となりました。

等級別では、比較的天候に恵まれたこと、カメムシ防除の取り組み強化やあぜ道指導会での中干し指導の徹底により1等米の比率が86.5パーセントとなりました。昨年と比較して大幅に高くなりました。全量全袋検査の結果については、すべて測定基準値以内となり、安心・安全が確保されました。

9月17日、9月議会定例会において同意をいただきました新たな広野町農業委員会委員8名に対し、町の農業振興と農業者の信頼に応えられることを期待し、任命書を交付しました。

10月22日、広野町役場前において、ふるさと応援寄付金の納税者に対する返礼品として特別栽培米コシヒカリの発送式を執り行い、寄附金を寄せていただいた全国463名の納税者の皆さまに向けて第一便を発送しました。12月1日現在、全国46都道府県から672件の申し込みを受け付けており、来年2月まで、納税者の方に向けて広野産の特別栽培米を送りたいします。

10月28日、広野町の自然を愛し、育てるために協力して社会に奉仕する自主的な活動をすることを目的とした広野町緑の少年団の結団式を執り行い、23名

の6年生が参加しました。今年度の活動として11月7日浪江町で開催された「第4回ふくしま植樹祭」に団員9名が参加し、海岸防災林にクロマツの植樹を行いました。

10月31日、広野町公民館駐車場において、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に講じながら、ひろの秋祭りの一環として、農業団体、商業団体などのご協力により収穫祭を開催しました。飲食物のテイクアウト販売や地元野菜の無料配布など、町内外から訪れた約800名の皆さまにお楽しみいただきました。

11月6日、中央体育館において、公設商業施設「ひろのテラス」外4店舗による特設大即売会と併せてプレミアム付ひろの商品券即売会を2日間に渡り開催し、多くの皆さまにご来場をいただきました。

11月14日、広野町公民館大会議室において、福島県相双農林事務所主催により、町内7地区で実施されている県営広野地区ほ場整備事業において工事が完了し作付けを行った鶴ヶ崎、代、小滝平、南山、亀ヶ崎1・2・3工区に係る補完工事説明会が開催され、地権者等からの要望内

容の確認や今後のスケジュールなどについて説明がありました。11月30日、本町と防災協定を結んでいる自治体や職員派遣をいただいている自治体に対し、広野産新米を送付して支援の感謝の意を届けるとともに復興の姿を報告しました。



「第4回ふくしま植樹祭」に参加した広野町緑の少年団の子どもたち

12月6日、中央台みかんの丘において、児童館の児童35名による「みかん狩り」を開催し、翌日の12月7日には、こども園児62名による「みかん狩り」を開催しました。冬も温暖な本町の気候から採れるみかんを子ども達は「ふるさとの味」として楽しみました。

### 建設課

9月から11月にかけて、令和元年の台風19号及び21号に伴う

木地区集会所及び中央体育館において、震災後7回目となる広野町津波避難訓練並びに新型コロナウイルス感染症対策に基づき避難訓練を実施しました。訓練には、沿岸部で生活する町民、企業の皆さま、消防団、婦人消防隊、関係機関など160人のご参加をいただき、避難所設営や婦人消防隊による物資配布訓練、無人航空機ドローンからの映像で被害状況を確認する情報収集訓練等を実施し、防災体制の連携強化と防災意識の高揚を図りました。

11月9日、午後6時18分に大雨警報が発表されたことに伴い、災害に備え警戒配備体制を敷き、気象情報の収集、関係機関との連携、対応に取り組みました。同日、午後9時55分、大雨警報解除が発表され警戒配備体制を解除しました。この大雨による被害はありませんでした。

11月28日、ひろの防災緑地において、消防団による「つなぎ放水訓練」を実施しました。当日は大規模火災を想定し、消防団員50名、消防車両13台の参加のもと、自然水利を活用した中継放水訓練を実施しました。併せて無人航空機ドローンを

豪雨により発生した被災箇所での災害復旧に重点を置き取り組んできました。災害復旧工事の進捗については、国・県と連携のもと、事業者、関係機関の協力により全体の約9割の箇所について復旧が完了しました。令和3年度内の早期完了に向けて全力で取り組みます。

県管理河川である浅見川の河川改良復旧工事については、11月末現在85%の進捗となっております。令和3年度内の工事完了に向け取り組みます。

県道上戸渡・広野線の簗平地区からいわき市方面の災害復旧については、令和4年3月に完了します。

町道等の維持管理については、道路路面補修による安全性の向上や支障木の除去による見通しの確保等の道路維持補修に取り組みました。町道北釜・東町線道路整備については、令和3年9月16日に工事が完了し、翌日から共用を開始しました。折木地区土砂採取区域災害対策工事については、11月末現在42%の進捗となっており、現在、雨水排水の流量を制御する調整池を設置しています。引き続き粉塵対策の舗装及び法面保護対